

きょう  
今日からはじめる  
まほろば あいサポート



SUPPORTERS BOOK

SHIRUKOTOKARA

# シルコトカラ

しょうがい し とも い  
—— 障害を知り、共に生きる ——

きょう  
今日からはじめるあいサポート  
シルコトカラ

2 はじめに

4 視覚障害しかくしょうがい

6 聴覚・言語障害ちょうかく げんごしょうがい

8 盲ろうもう

10 肢体不自由したいふじゆう

12 内部障害ないぶしょうがい

14 重症心身障害じゅうしょうしんしんしょうがい

16 知的障害ちてきしょうがい

18 発達障害はったつしょうがい

20 精神障害せいしんしょうがい

22 依存症いぞんしょう

24 てんかん

26 高次脳機能障害こうじのうきのうしょうがい

28 難病なんびょう

30 身体障害者補助犬しんたいしょうがいしゃほじょけん

32 条例の紹介じょうれい しょうかい

35 障害に関するマークしょうがい かん

38 関係機関一覧かんけいきかんいちらん

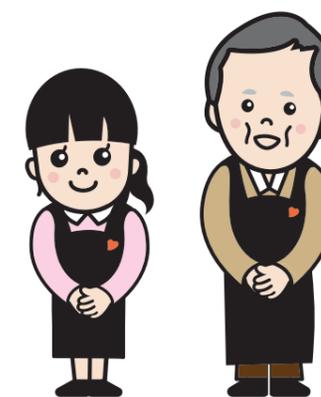
さまざまな障害しょうがいの特性とくせいや  
障害しょうがいのある方の困かたっていることを理解りかいし、  
ちょっとした手助けてだすや配慮はいりよを实践じっせんすることで、  
誰もが暮らしやすい地域社会ちいきしゃかいを築きずいていく運動うんどう

それが

あいサポート運動です。

まずは“知ることから”はじめましょう。

あいサポーターに  
なったばかりの高校生こうこうせいで、  
まほろばカフェでアルバイトを  
している。  
あいサポート運動うんどうについて  
日々勉強中ひびんきょうちゅう。



モカちゃん

マスター

あいサポーターで、  
まほろばカフェのマスター。  
あいサポート運動うんどうについて  
モカちゃんに色々なアドバイスいろいろを  
している。

★2人ふたりについて詳しくは『奈良県障害理解促進DVD』ならけんしょうがいりかいそくしん でいぶいでいーをご覧ください。らん

## はじめに

障害について

知っていますか？

Q & A

Q1. 障害は特別なものですか？

No. 病気や事故はいつ起こるかわかりません。  
同様に、障害は誰にでも生じ得るものです。

Q2. 同じ障害には同じ配慮をすれば良いですか？

No. 同じ障害でもその症状は多種多様で一律ではありません。

障害の種類や程度はさまざまです。  
その人に合った配慮が必要です。

Q3. 障害があることは外見からわかるのでしょうか？

No. 外見だけでは障害があることがわからないこともあります。

そのため、周囲に理解されず、苦しんでいる方もいます。

Q4. 周囲の理解や配慮があれば、  
何かが変わりますか？

Yes. 障害の種類や程度は人それぞれに違いますが、少しの理解や配慮があることで、地域の中で日常生活を営み、障害のない方と同じ職場で働いたり、趣味やスポーツなどで活躍したりとできることがたくさん増えます。

Q5. あいサポーターってなんですか？

障害について理解し、ちょっとした手助けや配慮を  
実践する人のことです。

あいサポーターになるには、あいサポーター研修を受講し、  
あいサポートバッジを受け取ってください。

私たちにできるあいサポート どのような配慮ができますか？

1 あたかく接してください

障害のある方に冷たい視線を送ったり、見て見ないふりをするのは避けてください。



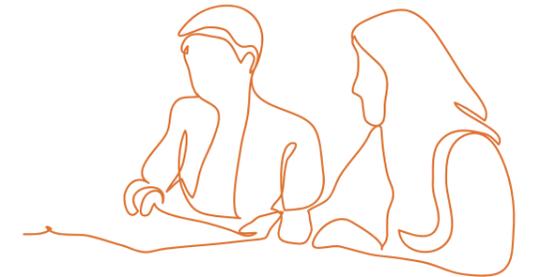
2 困っていそうな場面を見かけたら

「何かお困りですか」と一声かけて、自分でできるサポートをしましょう。



3 本人に話しかけましょう

支援者がいても、障害のある方本人に話しかけましょう。



4 決めつけは  
しないでください

「障害があるから」と決めつけずそれぞれの個性や能力が生かせることを一緒に考えてみましょう。



5 自分のイメージで  
見ないでください

障害だけをみるのではなく、その人の全体像を見て接しましょう。



なん げんいん しきのう しょうがい  
何らかの原因により視機能に障害があることにより、  
まった み ばあい ぜんもう み ばあい じゃくし  
全く見えない場合(全盲)と見えづらい場合(弱視)とがあります。

み ばあい つぎ しょうじょう  
見えづらい場合には、次のような症状があります。

さいぶ  
細部が  
よくわからない

ひかり  
光がまぶしい

くら  
暗いところで  
見えにくい

み はんい  
見える範囲が  
せま  
狭い、  
とくてい いろ  
特定の色が  
わかりにくい

- 目から情報を得にくいいため、音声や手で触れることなどにより情報を得ています。  
また、視覚障害のある方すべてが点字を読めるとは限りません。

こま  
困っています

- 一人で慣れない場所を移動することが困難です。
- 周囲の状況がわかりづらく、困っていても自分から声をかけることが困難です。
- 人の視線や表情が理解できないため、コミュニケーションに苦勞します。

はいりよ ねが  
配慮をお願いします

- 白杖使用者を見かけて、困っているように見えたら声をかけてください。
- 事故が起きないように駅のホームなどでは声をかける。
- 電車内や飲食店などで空いている座席を知らせる。
- 列の最後尾を知らせる。

はくじょう  
「白杖」について  
知っていますか？



しかくしょうがい かた ほこう つか しろう つえ  
視覚障害のある方が歩行するときに使う白い杖のこと。

はくじょうすおーえす  
※「白杖SOS」とは、  
はくじょう ずじょう ていど かか  
白杖を頭上50センチメートル程度に掲げて  
しゅうい もと あいず  
周囲にサポートを求める合図です。

み  
「見えないからできない」のではなく、  
み まわ しえん はいりよ  
「見えなくても周りの支援や配慮があればできる」ことが  
おお  
多くあります。



- タッチパネル式の機械はうまく操作できません。
- 点字ブロックの上に、物や自転車などが置かれていると、困ります。

- 声をかけるときは、突然体に触れず、前方から声をかけましょう。
- 「こちら、あちら」などの指示語は使わないでください。  
「3メートル先」「時計で3時の方向」など具体的に説明しましょう。
- 色覚障害のある方には、色の組み合わせや字体、線の太さなどに配慮が必要です。

ちょうかくしょうがい  
**聴覚障害**  
には

- 聞こえない「ろう」と、聞こえにくい「難聴（話し言葉が聞き取りにくい、小さい音が聞こえないなど）」とがあります。
- それぞれ「先天性（生まれつき）」のものと「中途失聴（途中から）」のものがあります。

げんごしょうがい  
**言語障害**  
には

- 言葉の理解や適切な表現が困難な「言語機能の障害」と、言葉の理解には支障はなく発声だけが困難な「音声機能の障害」とがあります。

こま  
**困っています**

- 聴覚障害は外見からはわかりにくく、周囲に気づいてもらえないことがあります。

- 話しかけられたことに気づかず返事をしなかったら、「無視された」などと誤解されることがあります。
- 補聴器を音楽用のイヤホンと間違われることがあります。

- 音声によって周囲の状況を判断することができません。

- 緊急放送や呼びかけ、自転車のベルなどが鳴っても聞こえず、危険な目にあうことがあります。

はいりよ ねが  
**配慮をお願いします**

- 適切なコミュニケーション方法を確認しましょう。

- メール、ファックス、音声認識文字変換アプリ、筆談ボードなどの音声以外の情報伝達方法を活用しましょう。

- 発声が聞き取りにくい場合は、聞き返すなどして、きちんと内容を確認しましょう。

また、聴覚障害と言語障害が重複することもあります。失聴した年齢、時期、程度などによって聞こえ方はさまざまです。

適切なコミュニケーション方法を確認しましょう。

手話

要約筆記

筆談

口話

代用発声

『手話ハンドブック』  
ならけんはっこう  
(奈良県発行)も  
さんしょう  
参照してください。



- 発声が困難な音声機能の障害のみの場合でも、言葉の理解や聴力にも障害があると誤解されることがあります。

- コミュニケーションで困ることがあります。

- 「聞こえないため、情報を得ることができない」ことも多くあります。
- 連絡先として、電話番号だけでなく、FAX番号やメールアドレスが併記されていると安心して連絡が取れます。
- 言語障害の場合は、伝えたいことが伝わらない不便さがあります。

- 大事な内容を伝える際は、内容をメモ用紙などに書いて渡しましょう。

- 口元の形や顔の表情は、大切な情報になります。はっきりと話すことを心がけ、必要に応じて、マスクや顔を隠すものはずしましょう。

- 手話通訳者や要約筆記者がいても、聴覚障害のある方と向き合って話しましょう。

視覚と聴覚の両方に障害があることを「盲ろう」といいます。

見え方や聞こえ方は個人によって異なり、

その程度によって次の4つのタイプがあります。

ぜんもう  
全盲ろう

まったく見え  
ず  
まったく聞こえない  
状態

ぜんもうなんちょう  
全盲難聴

まったく見え  
ず  
少し聞こえる  
状態

じゃくし  
弱視ろう

少し見えて  
全然聞こえない  
状態

じゃくしなんちょう  
弱視難聴

少し見えて  
少し聞こえる  
状態

- 社会参加をするためには、  
情報入手・コミュニケーションの支援や  
移動の介助が不可欠です。

		聴覚障害	
		全ろう	難聴
視覚障害	全盲	ぜんもう 全盲ろう	ぜんもうなんちょう 全盲難聴
	弱視	じゃくし 弱視ろう	じゃくしなんちょう 弱視難聴

困っています

- 情報入手、コミュニケーション、移動などのさまざまな場面で  
大きな困難が生じます。
- 自分の力だけで、情報を得たり、人と会話したり、外出、移動する  
ことが困難です。

配慮をお願いします

- 生活環境や障害の程度、障害の発症時期により  
コミュニケーション方法が一人ひとり異なることを理解しましょう。
- 通訳・介助員ではなく、できるだけ盲ろう者本人に話しかけましょう。

コミュニケーションの方法が一人ひとり異なるため、家族や周りの支援者が、  
それぞれにあったコミュニケーション方法を生み出す努力と工夫をしています。

てがもじ  
手書き文字

手のひらに指先などで文字を書き伝えます。

しょくしゅわ  
触手話

相手の行う手話に触れて、手話の形で読み  
取ります。

ゆびてんじ  
指点字

点字タイプライターのキーの代わりに、盲  
ろう者の指を直接たたいて点字を表します。  
左右の人差指から薬指の6本の指を点字の  
6点に見立てます。

おんせい  
音声

聴覚の活用が可能な方に対して耳元や補聴  
器のマイクなどに向かって話します。  
声の大きさ・抑揚・速さ・音の高さなど、聞  
こえ方に合わせた配慮が必要です。

もじひっき  
文字筆記

視覚の活用が可能な方に対して紙やパソコ  
ンに文字を筆記して伝えます。  
文字の大きさ・間隔・線の太さなど見え方  
に合わせた配慮が必要です。

盲ろう者によって配慮はさまざまです。  
どのような配慮が必要か  
確認することが望まれます。

視覚障害(P.4)と  
聴覚障害(P.6)の項目も  
参考にしてください。



て あし からだ いちぶ ぜんしん まひ けつそん  
手や足など身体の一部や全身に麻痺や欠損などがあることにより、  
にちじょう どうさ しせい いじ ふじゆう  
日常の動作や姿勢の維持が不自由です。

- くるま りようしゃ おお ことば ふじゆう  
車いすの利用者が多く、言葉の不自由さや、  
コミュニケーションの低下などを伴うこともあります。  
したいふじゆう なか のうせい せきずいそんしょう きん  
肢体不自由の中でも脳性マヒ、脊髄損傷、筋ジストロフィーなど  
ぜんしん しょうがい およ ばあい しょうがい ていど おも  
全身に障害が及ぶ場合は、障害の程度が重くなります。

あいて  
相手のペースを  
そんちよう  
尊重しましょう。



こま  
困っています

- くるま りよう  
車いすを利用していると
- じゅうぶん だんさ しょうがいぶつ  
十分なスペースがなかったり、ちょっとした段差や障害物があるために、  
いどう  
移動することができなかったりすることがあります。
- たか ゆか と こんなん  
高いところにあるもの、床にあるものなどを取ることが困難です。
- こうきょうこうつうきかん ばあい  
公共交通機関でバリアフリーになっていない場合は、  
りよう  
スムーズに利用できなかったり、利用をあきらめなければならなかったり  
することがあります。
- えーていーえむ じどうはんばいき しょうめん む あし はい つか  
ATMや自動販売機など、正面向きでは足が入らず使いにくいです。

はいりよ ねが  
配慮をお願いします

- こま こえ てだす ひつよう  
困っていそうなときは声をかけ、どんな手助けが必要か  
かくにん  
確認しましょう。
- くるま りよう ひと かいわ  
車いすを利用している人と会話するときは、  
おな めせん たか はな  
できるだけ同じ目線の高さで話すようにしましょう。

かた  
こういう方もいます

のうせい かた なか はつご しょうがい くわ かお てあし じぶん おも  
脳性マヒの方の中には、発語の障害に加え、顔や手足などが自分の思いとは  
かんけい うご かた  
関係なく動いてしまう方もいます。

せきずいそんしょう かた なか てあし うご かんかく よわ  
脊髄損傷の方の中には、手足が動かないだけでなく、感覚も弱くなり、  
たいおんちようせつ こんなん かた  
体温調節が困難な方もいます。

きん かた なか びようき しょうじょう しんこうど ちが  
筋ジストロフィーの方の中には、病気のタイプや症状の進行度に違いがあり、  
ぜんめんてき しんたいかいじょ ひつよう かた  
全面的な身体介助を必要とする方もいます。

- しょうがいしゃとうようちゅうしゃ あ  
障害者等用駐車スペースが空いていないため、  
りよう  
利用できないことがあります。
- た の こ こんなん かた せつしょく えんげしょうがい た もの  
食ること、飲み込むことが困難な方(摂食嚥下障害)には、食べ物に  
トロミをつけたり、こま きざ  
細かく刻んだりするなどの加工が必要です。  
かこう ひつよう  
また、がいしょくじ かしだし たす  
また、外食時にはハサミやミキサーの貸出などがあると助かります。
- たきのう せいじん か  
多機能トイレに、成人のおむつを替えたり、  
したぎ ちゃくだつ おお おお こま  
下着の着脱ができる大きなベッドがないことが多いため、困っています。

- き と ないよう かくにん  
聞き取りにくいときはきちんと内容を確認しましょう。
- たきのう りよう かた  
多機能トイレしか利用できない方がいるので、  
いっぽん りよう かた りよう ひか  
一般トイレを利用できる方は、できるだけ利用を控えましょう。
- しょうがいしゃとうようちゅうしゃ いっぽん かた ちゅうしゃ  
障害者等用駐車スペースには、一般の方は駐車しないように  
しましょう。

ないぞうきのうしょうがい しんたいしょうがいしゃふくしほう しんぞうきのう こきゅうききのう  
内臓機能の障害であり、身体障害者福祉法では「心臓機能」「呼吸器機能」  
じんぞうきのう ちよくちようきのう しょうちようきのう かんぞうきのう めんえきふぜん  
「腎臓機能」「ぼうこう・直腸機能」「小腸機能」「肝臓機能」「ヒト免疫不全ウィ  
えいちあいぶい めんえききのう しゅるい きのうしょうがい さだ  
ルス(HIV)による免疫機能」の7種類の機能障害が定められています。

しんぞうきのう  
心臓機能

こきゅうききのう  
呼吸器機能

じんぞうきのう  
腎臓機能

ちよくちようきのう  
ぼうこう・直腸機能

しょうちようきのう  
小腸機能

かんぞうきのう  
肝臓機能

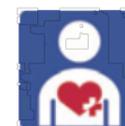
めんえきふぜん えいちあいぶい めんえききのう  
ヒト免疫不全ウィルス(HIV)による免疫機能

こま  
困っています

- 電車やバスの優先座席に座りにくい、障害者等用駐車スペースを利用しにくいなど、心理的ストレスを受けやすい状況にあります。
- 「心臓機能障害」で心臓ペースメーカーなどを使用している方は、携帯電話から発せられる電磁波などの影響で誤作動する恐れがあります。
- 「呼吸器機能障害」のある方は、タバコの煙などにより大きな影響を受けます。
- 「腎臓機能障害」のある方の中には、人工透析治療を受けている方がいます。定期的な通院への理解と時間の配慮が必要です。

はいりよ ねが  
配慮をお願いします

- 「外見からはわかりにくい障害」があることを理解しましょう。
- 決められたルールやマナーを守りましょう。
  - ・優先座席付近では携帯電話の電源を切りましょう。
  - ・タバコは決められた場所で吸いましょう。



ハート・プラスマーク



オストメイトマーク



ヘルプマーク

「ハート・プラスマーク」  
「オストメイトマーク」  
「ヘルプマーク」などの  
マークがあることを  
理解しましょう！(P.35)



- 「ぼうこう・直腸機能障害」のある方で人工ぼうこう・人工肛門を使用されている方は、専用のトイレが必要です。
- 「肝臓機能障害」のある方は、体力の低下や疲れの症状が顕著にあらわれます。
- 「小腸機能障害」のある方は、消化吸収機能の低下により食事による栄養維持が難しいです。
- 「ヒト免疫不全ウィルス(HIV)による免疫機能障害」については、誤解や偏見が多いため、正しい理解が必要です。

- 風邪などをうつさないよう配慮しましょう。

- ・体力が低下しているため、風邪などに感染しやすいです。
- ・障害のある臓器に悪影響を及ぼすことがあります。

じゅうしょうしんしんしょうがい せんてんせい こうてんせい かか  
**重症心身障害とは、先天性、後天性に関わらず、**  
じゅうど したいふじゅう じゅうど ちてきしょうがい ちょうふく じょうたい  
**重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態をいいます。**  
じぶんひとり にちじょうせいかつ おく こんなん  
**自分一人では日常生活を送ることは困難であり、**  
すべ せいかつめん かいじょ ひつよう  
**全ての生活面で介助が必要です。**

- たいちょう あんてい かた おお  
● 体調が安定している方の多くは、  
つうがく つうしょ がっこう せいかつ かいご じぎょうしょ にちゅうせいかつ おく  
通学や通所をし、学校や生活介護事業所などで日中生活を送っています。

こま  
困っています

- オムツを使用している方もいるため、多機能トイレに成人が利用できる大きなベッドがないことが多く困っています。
- くるま りよう じゅうぶん ばあい だんざ しょうがいぶつ  
● 車いすを利用していると、十分なスペースがない場合や、段差や障害物がある場合は、移動することが困難です。
- しょうがいしゃとうようちゅうしゃ あ りよう  
● 障害者等用駐車スペースが空いていないため、利用できないことがあります。

はいりよ ねが  
配慮をお願いします

- うまく言葉や表情にあらわすことができなくても、感じる心は皆さんと同じです。社会の一員として皆さんと同じように接しましょう。
- くるま いどうじ ひとで  
● 車いすやストレッチャーでの移動時に人手がいるようなときは、  
ほんにん かいご かた こえ  
本人や介護している方に声をかけてみましょう。

かた  
こういう方もいます

コミュニケーションが難しく、経口で食事を摂取することや、呼吸をすることも困難な方、意識障害があり生命維持に関わる機能までもダメージを負っている方もいます。

せんもん しせつ にゅうしょ つね かいご かんご う せいかつ かた じたく かぞく かいご  
● 専門の施設に入所して常に介護・看護を受けて生活している方や、自宅で家族の介護に加え、訪問医療、訪問介護などの支援を受けながら暮らしている方もいます。  
とく じんこうこきゅうき いりょうど たか ひと ざいたく せいかつ じかん みまも  
特に、人工呼吸器をつけるなど医療度が高い人の在宅での生活は、24時間の見守り、  
たいちょうかんり ひつよう かぞくいがい かいごし かんごし おお しえんしゃ ひつよう  
体調管理が必要で家族以外の介護士や看護師など多くの支援者が必要となります。

- にちじょうせいかつ ぜんかいじょ かいごしゃ ふたん おお  
● 日常生活において全介助となるため、介護者の負担が大きいです。

- いりょうど たか きゅうじつ やかん きんきゅうじ たいおう いりょう きかん  
● 医療度が高くなると、休日や夜間など緊急時に対応できる医療機関が限られます。

しょうがい おも ひとり せいいつぱい  
どんなに障害が重くても、一人ひとりが精一杯  
い すがた みまも  
生きている姿を見守ってください。



- がいしゅつじ しょうがいしゃとうようちゅうしゃ  
● 外出時には、エレベーター、障害者等用駐車スペース、  
たもくてき ひつよう ふか けつ  
多目的トイレなどが必要不可欠です。  
き まも  
決められたルールやマナーを守りましょう。

- がいしょくさき でんげん しょう かのう はんい ほんにん しょくじけいたい しょく  
● 外食先では、電源の使用や、可能な範囲での本人の食事形態(きざみ食  
やミキサー食など)に合わせた食事の提供をお願いします。

おおむ さい ちてき のうりよく おく しょう  
概ね18歳までに知的な能力に遅れが生じ、

にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ てきおう  
日常生活や社会生活へ適応するため、

なん しえん ひつよう じょうたい  
何らかの支援が必要な状態をいいます。

●「人とのコミュニケーション」「物事の理解や記憶」「抽象的な思考」などを

にがて かがた おお はったつしょうがい しょうじょう ちょうふく ばあい  
苦手とする方が多く、発達障害の症状が重複する場合があります。

ことば こうどう いみ あいて つた まわ ごかい へんけん  
ことばや行動の意味が相手にうまく伝わらず、周りから誤解や偏見を  
受けることがあります。

こま  
困っています

● 複雑な会話や抽象的な概念が理解しにくい方もいます。

● 人に尋ねたり、自分の意見を言ったりすることが苦手な方もいます。

● 漢字の読み書きや計算が苦手な方もいます。

● ひとつの行動に固執したり、同じ質問を繰り返したりする方もいます。

はいりよ ねが  
配慮をお願いします

● 不安を感じることをないように、穏やかな口調で話しかけてください。

● 成人の場合は、相手の年齢に応じた言葉を使って話してください。

● 具体的な表現で、わかりやすく伝えてください。

とくい ふとくい  
得意なところ、不得意な  
ところを周りが理解し  
適切に支援することが  
大切です。

はったつしょうがい  
発達障害(P.18)  
しょうじょう ちょうふく  
の症状が重複する  
ばあい  
場合もあります。



● 環境や状況の変化に慣れるのが苦手な方もいます。

● 「暗黙のルール」や「社会のルール」が理解できない方もいます。

● 事故・トラブルにあっても助けを求めたり、誰かに訴えたりすることが  
苦手な方もいます。

● 感覚が過敏な方もいます。

● ゆっくり、丁寧に、繰り返し説明してください。

● 思い込みで判断せず、見守りましょう。

● 障害のある方本人に話しかけましょう。

生まれつき脳機能の発達に障害があるために起こるものであり、

「自閉スペクトラム症 (ASD)」「注意欠如・多動症 (ADHD)」

「限局性学習症 (SLD)」の3つに大別されます。

次のような特徴があります。

- 「自閉スペクトラム症」「注意欠如・多動症」「限局性学習症」はそれぞれ重複することが多いです。
- 一人ひとりの特性はさまざまで、個々に症状は違います。
- 親の育て方や育った環境などが原因ではありません。

困っています

- 発達にアンバランスがあり、できること、できないことに差があります。
- 「言うことを聞かない」のではなく、「聞いているようで聞いてない」ことや、「聞いていても理解できない」ことがあります。
- 「しない」のではなく、「することが困難」な場合があります。

配慮をお願いします

- それぞれの特性を理解して、その方にあった関わり方をしましょう。
- 状況の変化に柔軟に対応できないときは、落ち着ける場所に誘導しましょう。
- 思い込みで判断せず、見守ってみましょう。

自閉スペクトラム症 (ASD)

社会性や対人面において、コミュニケーションや関係づくりが苦手、こだわりが強く、行動や興味や関心のかたよりのある、感覚の過敏などの特徴があります。

限局性学習症 (SLD)

全般的な知的発達に遅れはありませんが、聞く、話す、読み書きや計算など、特定の能力に著しい困難があります。

注意欠如・多動症 (ADHD)

集中することができない「不注意」、じっとしてられない「多動性」、考えるよりも先に行動する「衝動性」などの特徴があります。

特性を本人や周囲の人が理解し、それぞれにあったやり方で支援することができれば、持っている本来の力が生かされるようになります。



- 特性に個人差が大きく、外見からはわかりづらいため、理解されにくいことがあります。

- 対人関係において距離感や場の雰囲気を読むことが困難で、自分の考えを譲りにくい方がいます。

- 急な変更や変化に対応することが苦手であることも多く、パニックに陥ってしまう方がいます。

知的障害 (P.16) の症状が重複する場合があります。

- 事前に見通しを示しましょう。

- 具体的な表現で、わかりやすく伝えましょう。

- 肯定的な対応を心がけましょう。

なん げんいん のう はたら さまた  
何らかの原因により、脳の働きが妨げられ、  
せいしん からだ こうどう へんか あらわ のう びょうき  
精神や身体、行動などに変化が現れる脳の病気です。

- 「統合失調症」「うつ病」「双極性障害」など種類や症状はさまざまです。

にちじょう せいかつ しごと おも しゃかいせい なま  
※日常生活や仕事などが思うようにできなくなり、「社会性がない」「怠けている」などと  
ごかい され しまう こと が 少く ありません。いりょう ふくし そうごうてき しえん  
誤解されてしまうことが少なくありません。医療と福祉などの総合的な支援によって  
しゃかいさんか みち ひら  
社会参加への道が開かれます。

せいしんしょうがい かた せいかつ そうだん かよ しせつ ふ  
※精神障害の方が生活について相談したり、通うことができる施設も増えています。  
さまざまな支援を適切に活用することで、持っている力を発揮することができます。

こま  
困っています

- 対人関係やコミュニケーションが苦手な方もいます。

がいけん しょうがい りかい  
● 外見からはわかりにくいいため、障害のつらさを理解されず、  
しゃかい こりつ かた  
社会から孤立してしまう方もいます。

しゃかい りかいぶそく びょうき し  
● 社会の理解不足から、病気のことを知られたくないと  
なや かた  
悩んでいる方もいます。

はいりよ ねが  
配慮をお願いします

- 障害に対する理解を深め、一人の人間として尊重し対応しましょう。

こうていてき ことば ぐたいてき はな  
● 肯定的な言葉で、「わかりやすく」「ゆっくりと」「具体的に」話しましょう。

だま よ そ だいじ ばあい  
● 黙って寄り添うのも大事なコミュニケーションになる場合があります。

とうごうしつちょうしょう  
統合失調症

げんかく もうそう しょうじょう なや くる  
幻覚や妄想といった症状に悩まされ、苦  
しむことがあります。そうきはっけん つと  
早期発見に努め、  
ほんにん しゅうい かた きょうりょく やくぶつりょうほう  
本人と周囲の方とが協力して薬物療法な  
どの治療とリハビリを継続することで、多  
くの方は回復することができます。

そうきょくせいしょうがい  
双極性障害

きぶん こうよう ひじょう かつどうてき  
気分が高揚し、非常に活動的になる  
「躁状態」と、その対極にある「うつ状態」  
とを繰り返す脳の病気です。状態が落ち  
ついて良くなっても、治療を継続するこ  
とが大切です。

- 体調や症状により周囲の言動を被害的に受け止め、  
不安や恐怖感をもってしまう方もいます。

がくせいじだい はつびょう ちょうきにゅういん  
● 学生時代の発病や長期入院のため、  
しゃかいせいかつ な かた  
社会生活に慣れていない方もいます。

- 集中力が続かなかつたり、疲れやすくなってしまう方もいます。

びょう  
うつ病

きぶん お こ ねむ しょくよく  
気分が落ち込み、眠れない、食欲がない、  
たの 楽しむ ない、というように何かをしたいと  
おも 思ってもできなくなる脳の病気です。この  
よう な 時 は 無理 を せず、 はや せんもんきかん  
早めに専門機関に  
そうだん 相談するとともに、 ゆっくり 休養 すること  
が大切です。

びょうき しょうがい  
病気や障害を  
ただ りかい  
正しく理解して、  
へんけん も  
偏見を持たないように  
しましょう。



- それぞれの特性やつらさを理解して関わられるように、  
せんもんか はなし き たいせつ  
専門家の話を聞くことも大切です。

いま うま ほんにん どりょく こうてい  
● 今は上手くできなくても、本人の努力を肯定して、  
ゆっくりと待ちましょう。

とくてい なに ところ うば おも  
特定の何かに心を奪われ、やめようと思っても、  
やめられない状態を言います。

つぎ とくちょう  
次のような特徴があります。

- **物質依存**  
ぶっしつ いぞん  
アルコールや薬物などの物質に依存する。
- **プロセス依存**  
いぞん  
ギャンブルやゲーム、買い物など、特定の行為や過程に  
必要以上に熱中し、のめりこんでしまう。

こま  
困っています

- **自分の力だけで依存を断ち切るのは困難です。**  
じぶん ちから いぞん た き こんなん
- 心や身体に変化が起こり、自分自身でコントロールできない状態です。  
こころ からだ へんか お じぶんじしん じょうたい
- 問題を認識していても自力で相談することが困難です。  
もんだい にんしき じりき そうだん こんなん

はいりよ ねが  
配慮をお願いします

- **依存症は病気です。そのために、治療が必要です。**  
いぞんしょう びょうき ちりょう ひつよう
- **依存症の治療は、その対象(物質や行為)をやめ続ける以外にありません。**  
いぞんしょう ちりょう たいしょう ぶっしつ こうい つづ いがい
- **依存症は、回復のある病気です。**  
いぞんしょう かいふく びょうき  
びょうき じょうず じゅうよう  
病気と上手につきあっていくことが重要です。

いぞんしょう だれ う びょうき  
依存症は誰もがなり得る病気ですが、  
てきせつ ちりょう う  
適切な治療やサポートを受ければ、  
しんこう と かいふく  
進行を止め回復することができます。

いぞん かいふく  
依存からの回復には、  
そうきはっけん そうきちりょう  
早期発見・早期治療が  
たいせつ  
大切です。



- **依存症には治療が必要ですが、周囲の理解が得られないことがあります。**  
いぞんしょう ちりょう ひつよう しゅうい りかい え
- 依存症は病気ですが、個人の問題だと捉えられることが多くあります。  
いぞんしょう びょうき こじん もんだい とら おお
- 「意志が弱い」「だらしない」などのレッテルにより、  
いし よわ  
問題を抱え込んでしまうことがあります。  
もんだい かか こ
- **依存症は常に再発の危険があります。**  
いぞんしょう つね さいはつ きけん

- **依存症の本人たちが集い依存脱却を目指す「自助グループ」などへ参加することが重要です。**  
いぞんしょう ほんにん つど いぞん だっきゃく めざ じじょ  
さんか じゅうよう
- 依存脱却の手段として、当事者ミーティングへの参加のほか、  
いぞん だっきゃく しゅだん どうじしゃ さんか  
いりようきかん かいふくしせつ りよう  
医療機関や回復施設の利用などがあります。
- **依存からの回復に取り組む人たちを温かく見守ってください。**  
いぞん かいふく と く ひと あたた みまも

だいのう しんけいさいぼう せいじょう うしな  
**脳の神経細胞が正常なコントロールを失って**

かじょう かつどう けいれん いしき  
**過剰に活動してしまうことで、痙攣や、意識がないまま**

いっけん ば こうどう  
**一見その場にそぐわない行動をするなどの**

ほっさ く かえ お びょうき  
**発作が繰り返し起こってしまう病気です。**

- **誰でもかかる可能性があり、大人になってからも起こります。**  
 また、手術で発作をなくす、あるいは軽くする方法もあります。

### こま 困っています

- **「誤解」や「偏見」が問題になりやすい病気です。**

- **疲れすぎたり、寝不足が続いたりすると発作が起きやすくなります。**

### ほっさ お てんかん発作が起きたら？

- **まず、あわてずに見守りましょう。**

- **周りの人ができること**

#### ① 危険を避ける

- **意識を失う発作では、危ないものを遠ざける。**
- **倒れる危険性がある場合には、頭を床で打たないようタオルなどやわらかいものを敷く。**

#### ② 動作に自然に寄り添う

- **発作が起きている間は、無理に動かさないようにする。**
- **窒息を防ぐため、顔と身体を真横に向け、唾液が自然に流れる姿勢にする。**
- **意識がなくて歩きまわるときは後ろから付いていくなど、自然に寄り添う。**

ほっさ お ばあい  
 てんかん発作が起きた場合は、  
 れいせい たいおう  
**冷静に対応することを**  
 こころ  
**心がけましょう。**

ちてきしょうがい  
**知的障害などを**  
 へいはつ  
**併発することが**  
**あります。**



- **常に発作が起きることへの不安を抱えています。**

#### ③ 発作の様子を詳しく見ておく

- **発作の正しい時間を知るために時計を見る。**
- **発作の間の表情の変化を観察する。**

#### ● やってはいけないこと

- ① **口にハンカチなどの物を入れる。**
- ② **痙攣を止めようと体を押さえる。**
- ③ **早く意識を戻そうとして刺激する。**

- **意識が回復しないのに発作が連続して起きる、痙攣発作が5分以上続くようなときには、病院で救急受診しましょう。**

こうつうじこ とうぶ のうそっちゅう のう せんしょう う  
 交通事故や頭部のけが、脳卒中などで脳が損傷を受けたために、

のう せいみつ じょうほうしり しれい う ま でんたつ  
 脳の精密な情報処理や指令が上手く伝達できなくなった

じょうたい い  
 状態のことを言います。

●「記憶障害」「注意障害」「遂行機能障害」

しゃかいてきこうどうしょうがい はんそくくうかん むし  
 「社会的行動障害」「半側空間無視」(\*)など、

のう せんしょう ぶい ていど しょうじょう  
 脳の損傷部位や程度により症状は

ひとり こと  
 一人ひとり異なります。

(\*)「半側空間無視」とは、

のう せんしょう しりよく もんだい べつ  
 脳の損傷により、視力の問題とは別に、  
 くうかん はんぶん にんしき  
 空間の半分の認識ができなくなることです。



こま  
**困っています**

● 突然の病気や事故で以前と違う状況になったことを

う い にんしき かた おお  
 「受け入れられない、認識できない」方が多いです。

● どうしていいのかわからない状態でも、自分の困っていることを

つた つか ばあい  
 「伝えられない、聞くことができない」場合があります。

はいりよ ねが  
**配慮をお願いします**

● 障害に対する理解を深め、一人ひとりにあった支援をしましょう。

● ゆっくり、わかりやすく、具体的に一つずつ伝えましょう。

● 障害が理由で、できないことが多くても、責めたり怒ったりせず、

かぞく はなし き きなが たいおう  
 家族に話を聞くなどして気長に対応しましょう。

きおくしょうがい  
**記憶障害**

- やくそく まも わす  
 ・約束を守れない、すぐに忘れてしまう。
- あたらし おぼ  
 ・新しいことが覚えられない。
- なんど おな はな き  
 ・何度も同じことを話したり聞いたりする。
- ひと なまえ かお おぼ  
 ・人の名前や顔が覚えられない。

すいこう きのう しょうがい  
**遂行機能障害**

- やくそく じかん ま あ  
 ・約束の時間に間に合わない。
- いきあたりばつり しょうどう  
 ・いきあたりばつりの行動をする。
- しごと やくそく しあ  
 ・仕事が約束どおりに仕上がらない。
- けいかく た  
 ・計画が立てられない。

ちゅういしょうがい  
**注意障害**

- しゅうちゅう  
 ・集中できない。
- うっかりミスや不注意が多い。  
 ふちゅうい おお
- 持続性に欠ける。  
 じぞくせい か
- 二つのことを同時にしようとすると  
 ふた どうじ  
 混乱する。  
 こんらん

しゃかいてきこうどうしょうがい  
**社会的行動障害**

- すぐに怒ったり、笑ったり、  
 おこ わら  
 感情を爆発させる。  
 かんじょう ばくはつ
- 一つのことにとこだわって、  
 ひとつ  
 他のことができない。  
 ほか
- 無制限に食べたり、お金を使ったりする。  
 むせいげん た かね つか  
 (欲求のコントロールができない)  
 よつきゅう

発病の原因が明らかでないために、治療方法が確立しておらず、

長期にわたり療養を必要とする、希少な病気のことをいいます。

その中には、「パーキンソン病」「潰瘍性大腸炎」「クローン病」

「全身性エリテマトーデス」など、数多くの指定難病があります。

●対象となる方は、障害者手帳をお持ちでなくても、

必要と認められた障害福祉サービスなどが受けられます。

こま  
困っています

●疾病の症状や程度はさまざまで、

外見からわかりにくい場合も多いです。

- ・外見からはわかりにくいので、電車やバスの優先座席に座りにくいです。
- ・周囲の理解が得られず、心理的なストレスを受けやすい状況にあります。

はいりよ  
ねが  
配慮をお願いします

●難病には、症状や障害の程度が外見からは

わかりにくい疾病が多いことを理解しましょう。

●症状や体調に応じて、対応して欲しい内容を

本人に確認しながら、対応しましょう。

かた  
こういう方もいます

パーキンソン病は「手足が震える」「筋肉がこわばる」「身体の動きが遅くなる」などの症状をはじめ、自律神経障害や睡眠障害など、さまざまな機能障害が生じる病気です。

10万人あたり100人～150人の患者がいて、高齢者に多くみられる病気ですが、若い人でも発病することがあります。

「転倒しやすい」「起き上がりなどが難しい」方が多いので、周りの皆さんにフォローしていただくと助かります。

●体調の変動が激しい場合があります。

- ・ストレスや疲労により、症状が悪化することがあります。
- ・疲れやすさや痛みを伴うことがあります。

しゅうい はいりよ しえん おこな しゃかいさんか  
周囲が配慮や支援を行い、社会参加の  
きかい ふ  
機会を増やしていきましょう。



●通院や服薬が必要な場合が多いので、

通院や休憩に対する配慮が必要です。

「身体障害者補助犬」は、目や耳や手足に障害のある方の生活をお手伝いする、「盲導犬」・「聴導犬」・「介助犬」のことで、

身体障害者補助犬法に基づき認定されており、特別な訓練を受けています。

● 補助犬の同伴については、

「身体障害者補助犬法」で、人が立ち入ることのできるさまざまな場所で受け入れるよう義務づけられています。



配慮をお願いします

● 「犬だから」という理由で受け入れを拒否しないでください。

● 補助犬の受け入れ施設の方へ

- 補助犬は、補助犬ユーザーの指示に従い待機することができるので、特別な設備は必要ありません。
- 補助犬の同伴を受け入れる際に他のお客様から苦情がある場合は、「身体障害者補助犬法」で受け入れ義務があること、補助犬の行動や健康の管理はユーザーが責任をもって行っていることを説明し、理解を求めてください。アレルギーのある方などがいた場合、座席の配置などに配慮してください。
- 補助犬が通路をふさいだり、周りのにおいを嗅ぎ回ったり、その他、何か困った行動をしている場合は、そのことをユーザーにはっきり伝えてください。

盲導犬



目の見えない方、見えにくい方が街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角を教えたりします。ハーネスという胴輪をつけています。

聴導犬



音が聞こえない、聞こえにくい方に、生活の中の必要な音を知らせます。玄関のチャイム音・FAX着信音・赤ちゃんの泣き声などを聞き分けて教えます。「聴導犬」と書かれた表示をつけています。

介助犬



手や足に障害のある方の日常生活動作をサポートします。物を拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、着脱衣の介助などを行ないます。「介助犬」と書かれた表示をつけています。

- 補助犬を同伴していても、ユーザーへの援助が必要な場合があります。ユーザーが困っている様子を見かけたら、まずは声をかけたり、筆談をしたりして、コミュニケーションをとってください。

● その他

- 仕事中の補助犬には、話しかけたり、勝手にさわったりして気を引く行為をしないようにしましょう。
- 何か必要があるときは、ユーザーに知らせましょう。
- 補助犬に食べ物や水を与えないようにしましょう。ユーザーは与える食事の量や水の量、時刻をもとに犬の排泄や健康を管理しています。
- 補助犬の写真を勝手に撮らないようにしましょう。撮りたい場合は、ユーザーに確認しましょう。

# 奈良県障害のある人もない人も ともに暮らしやすい社会づくり条例

この条例は、障害のある人もない人もお互いにかげがえのない個人として尊重し合いながら、安心して幸せに暮らすことができる社会づくりを  
目指しています。

私たち一人ひとりが障害のことを理解して、それぞれの立場でできる配慮や工夫をすることにより、差別や障壁(バリア)がなくなれば、障害のある人だけではなく、全ての人にとって暮らしやすい社会になっていきます。

障害のある人もない人も、ともに安心して幸せに暮らすことができる奈良県をつくりましょう。



この条例では、「障害を理由とする差別」を禁止しています。  
「障害を理由とする差別」には、次の2つがあります。

不利益な取扱い

合理的な配慮の不提供

## 「不利益な取扱い」とは？

「不利益な取扱い」とは、やむを得ない理由(合理的な理由)なく、障害を理由として、サービスの提供を拒否したり、提供に当たって場所や時間帯などを制限したり、障害のない人には付けない条件を付けたりするようなことをいいます。

障害のある人の生活に関わる8つの分野について示すとともに、8つの分野以外の行為についても「その他」として包括的に禁止しています。



## 「合理的な配慮」とは？

「合理的な配慮」とは、障害のある人が毎日の生活の中で暮らしにくく感じているものや、困っていること(社会的障壁)を取りのぞくために、お金や労力などの負担があまり重くない範囲で配慮を行うことをいいます。

しかし、その内容は、障害の特性や程度、状態、場面、性別、年齢などでも、必要なものや求められることが一人ひとり違ってきます。

日ごろから社会的障壁をなくすようにすることはもちろんですが、障害のある人が困っている様子を見かけたり、配慮を求められたときは、できる限り力になるように心がけましょう。

負担が大きくて(過重な負担)できない場合は、相手にちゃんと説明してわかってもらうことが大切です。



## 「不利益な取扱い」と「合理的な配慮」について、もっと知りたい場合は…

県では『ガイドライン』を作成しており、障害福祉課のホームページからダウンロードできます。

奈良県 障害 ガイドライン

検索



知っていますか？

## 障害に関するマーク

### 視覚障害



盲人のための  
国際シンボルマーク



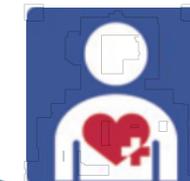
聴覚障害者マーク



耳マーク

### 聴覚障害

### 内部障害



ハート・プラス  
マーク



オストメイトマーク



ヘルプマーク



身体障害者マーク



障害者のための  
国際シンボルマーク



ほじょ犬  
マーク



## しょうがいしゃ こくさい 障害者のための国際シンボルマーク

しょうがい かつた りよう たてもん しせつ あらわ  
障害のある方が利用できる建物、施設であることを表すため  
のせかいきょうつう  
世界共通のシンボルマークです。



## もうじん こくさい 盲人のための国際シンボルマーク

しかくしょうがい かつた あんぜん こうりよ たてもん  
視覚障害のある方の安全やバリアフリーに考慮された建物、  
せつび きき などにつけられています。しんごうき こくさいてんじゅうびんぶつ  
設備、機器などに付けられています。信号機や国際点字郵便物・  
しよせき みちか み  
書籍などで身近に見かけるマークです。



## しんたいしょうがいしゃ 身体障害者マーク

したいふじゆう りゆう うんてんめんきよ じょうけん ふ  
肢体不自由であることを理由に運転免許に条件を付されている  
かつた うんてん くるま ひょうじ  
方が、運転する車に表示するマークです。



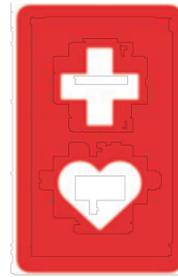
## ちょうかくしょうがいしゃ 聴覚障害者マーク

ちょうかくしょうがい りゆう うんてんめんきよ じょうけん ふ  
聴覚障害であることを理由に運転免許に条件を付されている  
かつた うんてん くるま ひょうじ  
方が、運転する車に表示するマークです。



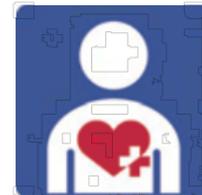
## みみ 耳マーク

き ふじゆう あらわ どうじ き かつた き  
聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない方・聞こえに  
かた はいりよ あわら  
くい方への配慮を表すマークです。



## ヘルプマーク

ぎそく じんこうかんせつ しょう かつた ないぶしょうがい なんびよう かつた  
義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、また  
にんしんしよき かつた がいけん えんじよ はいりよ ひつよう  
は妊娠初期の方など、外見からわからなくても援助や配慮を必要と  
している方々が、かたがた しゅうい かつた はいりよ ひつよう  
周囲の方に配慮を必要としていることを知らせる  
じす きかく  
マークです (JIS規格)。



## ハート・プラス マーク

しんたい ないぶ しょうがい かつた あらわ しんたい ないぶ しんぞう  
身体内部に障害がある方を表しています。身体内部(心臓、  
こきゅうき じんぞう ちよくちよう しょうちよう かんぞう めんえき しょうがい  
呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓、免疫)に障害がある  
かつた がいけん かつた  
方は外見からはわかりにくいため、さまざまな誤解を受けることが  
あります。そのようなかた りかい  
方の理解をすすめるためのマークです。



## オストメイトマーク

オストメイトとは、がんなどでじんこう  
じんこうこうもん ぞうせつ  
人工ぼうこう・人工肛門を造設し  
ていはいせつきのう しょうがい かつた  
ている排泄機能に障害のある方のことをいいます。このマークはオ  
ストメイトであることと、オストメイトのためのせつび  
設備(オストメイト  
たいおう  
対応のトイレ)があることを表しています。



## けん ほじょ犬マーク

しんたいしょうがいしゃほじょけんぼう けいはつ しんたいしょうがいしゃほじょけん  
身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。身体障害者補助犬  
もうどうけん ちょうどうけん かいじょけん こうきょう しせつ こうつうきかん  
とは、盲導犬、聴導犬、介助犬のことです。公共の施設や交通機関は  
もちろん、デパートやスーパー、ホテル、レストランなどのみんかんしせつ  
民間施設  
においては、身体障害のある方が身体障害者補助犬を同伴するのを受  
けい  
入れる義務があります。



## ならけん ちゅうしゃじょうせいど 奈良県おもいやり駐車場制度

だれ あんしん いどう ちいきしゃかい じつげん  
誰もが安心して移動できる地域社会を実現するため、  
くるま しょうしゃ ようかいごにんてい う こうれいしゃ いろいろ  
車いす使用者や要介護認定を受けた高齢者など、移動に  
はいりよ ひつよう かつた ちゅうしゃじょう こうてきしせつ みんかんしせつ  
配慮が必要な方のための駐車場を公的施設や民間施設に  
せいび  
整備するとともに、これらの方に利用証を県が交付し、  
とうがいちゅうしゃかくく りよう  
当該駐車区画を利用いただく制度です。

区分 該当頁	名称 / 所在地 / 電話 / ファックス / ホームページアドレス
視覚障害 P.4	<p>いっばんしゃだんほうじん ならけん しかくしょうがいしゃふくしきょうかい <b>一般社団法人 奈良県視覚障害者福祉協会</b></p> <p>〒634-0061 橿原市大久保町320-11 奈良県社会福祉総合センター内 TEL.0744-29-0144 FAX.0744-23-5999 <a href="http://www.nasuishin.jp/02.html">http://www.nasuishin.jp/02.html</a></p>
聴覚・ 言語障害 P.6	<p>いっばんしゃだんほうじん ならけん ちょうかくしょうがいしゃきょうかい <b>一般社団法人 奈良県聴覚障害者協会</b></p> <p>〒634-0061 橿原市大久保町320-11 奈良県社会福祉総合センター内 FAX.0744-29-0134 TEL.0744-29-0133 <a href="http://web1.kcn.jp/hp27xt23">http://web1.kcn.jp/hp27xt23</a></p>
	<p>ならけん ちゅうとしつちょう なんちょうしゃきょうかい <b>奈良県中途失聴・難聴者協会</b></p> <p>〒632-0043 天理市佐保庄町218 (出口方) FAX.0743-66-0847 <a href="http://naranancyo.web.fc2.com">http://naranancyo.web.fc2.com</a></p>
	<p>なら こうせいかい <b>奈良交声会</b></p> <p>〒634-0043 橿原市五条野町695 (中井方) TEL/FAX.0744-27-2854</p>
盲ろう P.8	<p>なら もう しゃとも かい わ <b>奈良盲ろう者友の会 やまとの輪</b></p> <p>e-mail ▶ <a href="mailto:yamatonowa0222@yahoo.co.jp">yamatonowa0222@yahoo.co.jp</a> FAX.0742-46-3183</p>
肢体不自由 P.10	<p>ならけん しんたいしょうがいしゃふくしきょうかいいんごうかい <b>奈良県身体障害者福祉協会連合会</b></p> <p>〒634-0061 橿原市大久保町320-11 奈良県社会福祉総合センター内 TEL.0744-29-0179 FAX.0744-29-0178 <a href="http://www.nasuishin.jp/nashinren">http://www.nasuishin.jp/nashinren</a></p>
	<p>ならけん したいふじゆうじしゃふぼ かいいんごうかい <b>奈良県肢体不自由児者父母の会連合会</b></p> <p>〒634-0061 橿原市大久保町320-11 奈良県社会福祉総合センター内 TEL.0744-29-0140 FAX.0744-21-6112 <a href="http://www.narakenshiren.gr.jp">http://www.narakenshiren.gr.jp</a></p>
	<p>いっばんしゃだんほうじん にほんきん きょうかい なら しぶ <b>一般社団法人 日本筋ジストロフィー協会 奈良支部</b></p> <p>けんしょうがいふくしか れんらく ※県障害福祉課あてにご連絡ください。</p>
内部障害 P.12	<p>ならけん しんたいしょうがいしゃふくしきょうかいいんごうかい <b>奈良県身体障害者福祉協会連合会</b></p> <p>〒634-0061 橿原市大久保町320-11 奈良県社会福祉総合センター内 TEL.0744-29-0179 FAX.0744-29-0178 <a href="http://www.nasuishin.jp/nashinren">http://www.nasuishin.jp/nashinren</a></p>
	<p>こうえきざいだんほうじん にほん きょうかい ならけん しぶ <b>公益財団法人 日本オストミー協会 奈良県支部</b></p> <p>〒631-0013 奈良市中山町西4-535-315 (本間方) TEL.090-4908-7619 FAX.0742-41-3661 <a href="http://www.joa-net.org/-article-192.html">http://www.joa-net.org/-article-192.html</a></p>

重症 心身障害 P.14	<p>ならけん じゅうしょうしんしんしょうがいじ しゃ まも かい <b>奈良県重症心身障害児(者)を守る会</b></p> <p>〒631-0072 奈良市二名4-1193-17 (江原方) TEL/FAX.0742-43-6782</p>
知的障害 P.16	<p>ならけん したいふじゆうじしゃふぼ かいいんごうかい <b>奈良県肢体不自由児者父母の会連合会</b></p> <p>〒634-0061 橿原市大久保町320-11 奈良県社会福祉総合センター内 TEL.0744-29-0140 FAX.0744-21-6112 <a href="http://www.narakenshiren.gr.jp">http://www.narakenshiren.gr.jp</a></p>
	<p>いっばんしゃだんほうじん ならけん て いくせいかい <b>一般社団法人 奈良県手をつなぐ育成会</b></p> <p>〒634-0061 橿原市大久保町320-11 奈良県社会福祉総合センター内 TEL.0744-29-0150 FAX.0744-29-0151 <a href="http://ikuseikai.sakura.ne.jp">http://ikuseikai.sakura.ne.jp</a></p>
発達障害 P.18	<p>とくていひえいりかつどうほうじん ならけん じへいしょうきょうかい <b>特定非営利活動法人 奈良県自閉症協会</b></p> <p>〒639-1055 大和郡山市矢田山町84-10 (河村方) TEL/FAX.0743-55-2763 <a href="http://www.eonet.ne.jp/~asn">http://www.eonet.ne.jp/~asn</a></p>
精神障害 P.20	<p>とくていひえいりかつどうほうじん ならけん せいしんしょうがいしゃかぞくかいいんごうかい <b>特定非営利活動法人 奈良県精神障害者家族会連合会</b></p> <p>〒630-8357 奈良市杉ヶ町20-2 更谷アパート1階西 TEL.090-9213-2731 FAX.0742-51-5506 <a href="https://nijiironokaze.jimdo.com">https://nijiironokaze.jimdo.com</a></p>
依存症 P.22	<p>ならけん だんしゅれんごうかい <b>奈良県断酒連合会</b></p> <p>〒635-0074 大和高田市大字市場694-4 (齊藤方) TEL/FAX.0745-53-3181 <a href="http://nara-danren.com">http://nara-danren.com</a></p>
	<p>いっばんざいだんほうじん <b>一般財団法人 ワンネスグループ</b></p> <p>〒635-0065 大和高田市東中2-10-18 TEL.0120-111-351 FAX.0745-24-7765 <a href="https://oneness-g.com">https://oneness-g.com</a></p>
てんかん P.24	<p>こうえきしゃだんほうじん にほん きょうかい ならけん しぶ <b>公益社団法人 日本てんかん協会 奈良県支部</b></p> <p>〒639-1042 大和郡山市小泉町246-3 TEL/FAX.0743-55-1505</p>
高次脳機能 障害 P.26	<p>なら のうがいしょうとも かい <b>奈良脳外傷友の会 あすか</b></p> <p>〒636-0311 磯城郡田原本町八尾62-5 (大久保方) TEL/FAX.0744-33-5980 <a href="http://www.eonet.ne.jp/~asuka-nousonsyou">http://www.eonet.ne.jp/~asuka-nousonsyou</a></p>
難病 P.28	<p>とくていひえいりかつどうほうじん なら なんびょうれん <b>特定非営利活動法人 奈良難病連</b></p> <p>〒630-8001 奈良市法華寺町265-8 白樺ハイツ大宮II 106号 TEL/FAX.0742-35-6707 <a href="https://narananbyouren.jimdofree.com">https://narananbyouren.jimdofree.com</a></p>
身体障害者 補助犬 P.30	<p>なら しょうかい <b>奈良パートナーズ協会</b></p> <p>〒630-8001 奈良市法華寺町265-8 白樺ハイツ大宮II 106号 TEL.090-8934-5340 (加藤方)</p>

めいしょう / しょうざいち / でんわ / ファックス 名称 / 所在地 / 電話 / ファックス	ないよう 内容
<p><b>奈良県心身障害者福祉センター</b></p> <p>〒636-0344                      磯城郡田原本町宮森 34-4                      TEL.0744-33-3393 FAX.0744-33-1199</p>	<p>障害のある方を対象とした、研修会やスポーツ・レクリエーションなどの活動の場を提供します。体育館、プール、簡易宿泊所、会議室、研修室、講習室、機能訓練室などの設備があります。</p>
<p><b>奈良県視覚障害者福祉センター</b></p> <p>〒634-0061                      橿原市大久保町 320-11 奈良県社会福祉総合センター内                      TEL.0744-29-0123 FAX.0744-29-0127</p>	<p>点字図書館、研修室、会議室などの設備があり、視覚障害のある方に対する録音図書や点字図書の貸出を行ったり、点訳・音訳ボランティアの養成講座などを行っています。</p>
<p><b>奈良県聴覚障害者支援センター</b></p> <p>〒634-0061                      橿原市大久保町 320-11 奈良県社会福祉総合センター内                      TEL.0744-21-7880 FAX.0744-21-7888</p>	<p>手話通訳者などが常駐し、聴覚障害のある方に情報提供や相談支援を行うほか、手話通訳者などの養成・派遣、聴覚障害者用字幕(手話)入り映像の製作・貸出などを行っています。</p>
<p><b>奈良県障害者総合支援センター</b></p> <p>〒636-0393                      磯城郡田原本町多 722                      TEL.0744-32-0200 FAX.0744-32-0208</p>	<p>子どもから大人まで障害を持つ人の社会参加と社会自立を促進するため、各種相談や入所・通所での機能回復訓練などによる支援を総合的に行います。</p>
<p><b>奈良県精神保健福祉センター</b></p> <p>〒633-0062                      桜井市粟殿 1000                      TEL.0744-47-2251 FAX.0744-42-1603</p>	<p>精神科医・保健師・精神保健福祉士・心理定員などの職員が、保健所などの関係機関と連携をとりながら、精神障害のある方の自立社会参加を支援するための専門的な相談や判定などを行っています。</p>
<p><b>発達障害支援センター「でいあー」</b></p> <p>〒636-0393                      磯城郡田原本町多 722 奈良県障害者総合支援センター内                      TEL.0744-32-8760 FAX.0744-32-8761</p>	<p>自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)、限局性学習症(SLD)などがあつた方とその家族などに対する支援を行います。</p>
<p><b>高次脳機能障害支援センター</b></p> <p>〒636-0393                      磯城郡田原本町多 722 奈良県障害者総合支援センター内                      TEL/FAX.0744-32-0205</p>	<p>外傷性脳損傷や脳血管障害などの後遺症として日常的に大きな支障をもたらす高次脳機能障害がある方とその家族などに対する支援を行います。</p>

## あいサポート運動とは

さまざまな障害の特性や障害のある方が困っていること、必要な配慮などを理解し、ちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会を実現することを目的としています。

平成 21 年 11 月に鳥取県で始まり、奈良県では、平成 25 年 8 月から、まほろば「あいサポート運動」としてこの運動を推進しています。

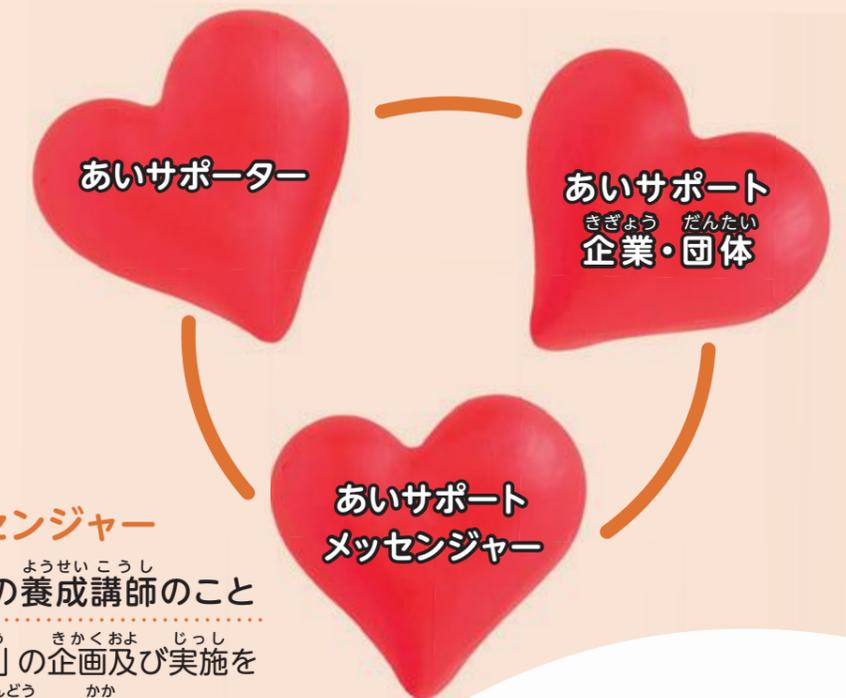
### あいサポーター

障害のある方が困っているときなどに、ちょっとした手助けや配慮を実践できる人のこと

特別な資格は必要ありません。意欲があれば、「あいサポーター研修」を受講することで、誰でも「あいサポーター」になることができます。

### あいサポート企業・団体

「あいサポート運動」の趣旨を理解して「あいサポーター」の普及などに積極的に取り組んでいる企業・団体のこと



### あいサポートメッセンジャー

#### あいサポーター研修の養成講師のこと

「あいサポーター研修」の企画及び実施を通じて、「あいサポート運動」に関わっていただくこととなります。あいサポートメッセンジャーになるためには、県で実施する研修を受けていただくことが必要です。

### 「あいサポート」の意味

愛情の「愛」、私の「I」、支え合いの「合い」に共通する「あい」と、支える・応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障害のある方を優しく支え、自分の意志で行動することを意味しています。



# シルコトカラ

ならけん ふくしいりょうぶ しょうがいふくしか  
奈良県福祉医療部障害福祉課

ならし のぼりおおじちょう ばんち  
〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地

でんわ ふあつくす  
電話 : 0742-27-8514 FAX : 0742-22-1814

ねん がつはっこう  
2019 年 3 月発行